

健康・生きがい就労関連 就労開発・支援事業

(担当：遠座)

健康・生きがい就労 (以後 KIS 事業と略) 及び 自治体関連の進捗

■自治体 KIS 事業

◎1月17日大阪市高齢者施策部地域包括ケア推進課に KIS 事業を説明

1月7日に講演を行った大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会の理事長(大阪市民)からぜひ大阪市でも KIS 事業を導入してもらいたいとのことで、その方が懇意にしている市議と一緒に大阪市高齢者施策部地域包括ケア推進課に伺い KIS 事業を説明しました。

大阪市からは、市の介護保険料は月額 9,249 円、全国平均の約 1.5 倍で日本一高いため、様々な施策も実施しているが、活動する・働くことで健康になるという介護予防の啓発活動はこれまで出来ていなかったと関心を示されました。

◎1月21日川西市 KIS 事業市民向け説明会で講演

川西市役所 2 階会議室で行われた川西市初の KIS 事業説明会で、ハタラクことの健康効果など KIS 事業の意義についてお話をしました。市として初の取組のため 2 つの介護事業者による求人数は 5 名だったのに対し、37 人の市民が募集説明会に出席されました。非常に競争倍率が高かったにもかかわらず 25 名が就労トライアル参加を希望されたため、市の担当者が急遽、次年度も本事業を実施するので今回採用されなかった方には次回の案内を行う旨説明をされました。

◎1月27日守口市役所にて KIS 事業とスマホ講座について説明

大阪府介護支援課地域支援グループと一緒に守口市役所に伺い、市高齢介護課 3 名と市から委託の第 2 層生活支援コーディネーター 3 名に対し説明を行いました。大阪府から「市民にとって健康とお金を手に入れることができるお得な事業であるが、市にとってもお金も手間もかからない非常にお得な事業である」との説明があり、また市側は、KIS 事業が地域包括ケア・短期集中リハビリを終えた高齢者の次の社会参加ステップとして有効であるとの認識をもたれ、市民参加を促す手法など 1 時間に及ぶ具体的な質疑がなされました。結果、百聞は一見に如かずということで 2 月 5 日開催の枚方市 KIS 事業所向け説明会や、3 月 3 日の摂津市市民向け説明会に参加されることになりました。

◎1月30日羽曳野市立生活文化情報センターで行われた羽曳野市 KIS 市民向け説明会にて講演

今回はハローワーク(以下 HW と略) 藤井寺から市への提案により開催されたため、羽曳野市経済労働課が年 4 回開催する就職フェアの最終回として市高齢福祉部署と共同して説明会が行われ、市商工会や隣接する HW 河内長野の担当も見学に来られていました。

コロナ、インフルエンザ流行で 5 事業所(介護系 3、保育系 2、求人数:計 6 名)のうち介護系 2 事業者が欠席、参加市民も 22 名の応募に対し 14 名の出席となりましたが、それでも過去の就職フェアで最も出席者が多いイベントになったそうです。

また HW 担当者から、働くことでの健康効果データを載せたチラシを作成し求人事業所の近くで配布したいとの相談があり、地域の人手不足状況とそれに対応しようという HW の熱心さを感じました。

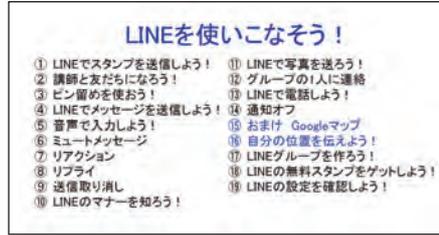
◎大阪・関西万博ガスパビリオン高齢者有償活動関係

◇1月26日大阪市西区役所会議室にて、前回 12/15 説明会の欠席者等に対して説明、手続き会および希望者向けスマホ講習会を 3 部構成で実施しました。

第 1 部は 3 名に対し、ガスパビリオンでの活動、参加研究の説明(12/15 の録画の視聴)と大阪大学に提出するアンケートや研究参加承諾書の記入・提出。

第 2 部は諸事情により万博会場入場パス発行のための登録申請が出来ていなかった 5 名に対し申請をサポート。

第 3 部は希望者向けの LINE を中心としたスマホ講座です。スマホ講座は、2 時間という制約の中で上記の⑰まで行われ、本プロジェクトの連絡が全て LINE を使って行われるため、マナーとして深夜着信音を鳴らさずにメッセージを送る方法や、万博会場で迷子にならない・相手に待ち合せ場所を地図で通知するための MAP の使い方などを学んでいただきました。大阪ガスのデジタル推進部署の方もボランティアしてスマホのサポートをしてくださいました。



■その他

・1月7日 WHO 健康開発総合研究センターと情報交換

世代間交流学会で知り合った WHO 神戸センターテクニカルオフィサーを訪問し、WHO のエイジフレンドリーシティグローバルネットワークに宝塚市が参加した経緯や社会的な活動することの健康効果などについて情報交換を行いました。

・1月9日大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会理事研修会(参加者 20 名)で、KIS 事業とスマホ講座に関する活動状況と及びその理論的背景である「活動することで元気・健康を維持できる」について 40 分お話をしました。講演後、協議会後継者の確保へのアイデア、KIS 事業成功の秘訣などについて 30 分を超える熱心な質疑と議論がありました。

2月の予定

- 5日 枚方市 KIS 事業市民向け募集説明会
(枚方市役所別館)
- 7日 宝塚市ファミリーサポートセンター参加市民座談会
- 10日 大阪ガス主催講演セミナー「高齢者と共に拓く持続可能な地域共 生社会」にて講演 (OME 3F ホール)
- 15日 NPO ラボ情報交換ミーティング
- 19日 宝塚市 KIS 事業市民向け募集説明会
(宝塚市立中央 公民館ホール)

啓発・研修事業分野

(担当：山口・山本・大林)

【フレミラ宝塚】

初めてのスマホ Android & シニア向け機種コース
(AM/PM 同じ内容)

《1/9》 Google マップ 講師：大林

Google マップの便利な使い方を学んでいただきました。まず現在地の確認、出発地と目的地を入れた経路の調べ方などの基本学習。その後は磁石マークのタップで移動、地図が回るのを体験したり、ストリートビューで東京タワー展望台やグレートバリアリーフの海中風景を見るなど、楽しく旅行気分を味わっていただきました。実生活で活用していただきたいアプリです。

《1/16》 詐欺啓蒙とアプリ紹介 講師：山本

高齢者の被害が多い特殊詐欺、その中でもメール、SMS、LINE などスマホに関わる事例を紹介して、注意喚起を促しました。ただ警戒し過ぎてスマホを遠ざけるのは本末転倒なので、騙されないコツなどを繰り返しアナウンスしました。後半は、生活が楽しくなるアプリや便利なアプリを紹介。気に入ったアプリをダウンロードしてチューターさんと一緒に使い方を覚えていただきました

《1/23》 相談会 (全般)

最後の相談会なので、今まで習ったこと全般の疑問点や確認点を担当チューターさんに質問していただきました。同じ授業を受けても、確実にスキルが身に付かれた方とそうでない方・様々です。でも講座に来るのが楽しく、仲間づくりの場として活用されているならそれで OK と、楽しさに重点を置いた講座づくりを心がけています。

《1/30》 修了式

講座の締めくくり、修了式を行いました。フレミラ館長代理として、山口事務局長より修了証書と健康賞(皆勤賞)を受講生に授与、その後は15回の講座を受けての感想を述べていただきました。感想は概ね好評で、「習って良かった」「習ったことを活用して行きたい」等の前向きな発言が続きました。最後に余った時間で Google 翻訳アプリを紹介し、様々な言語の翻訳機能を楽しんでいただきました。万博インバウンドで役に立てばいいと思います。

【伊丹市ラストホール・サポーター養成講座】

《1/16(3回目)》 講師：大林

全3回講座の最終回は LINE の友だち追加、グループ、スタンプ、写真、音声入力を取り上げました。ラストホールが実施したアンケートの結果は概ね良好で、「楽しかった」「知らなかった機能を教えてもらった」などの喜びの声が上がりました。スキルチェックのアンケートでは、最終日に受講された15人中、6人が50点満点と、受講生のレベルは想定どおり高かったようです。令和6年度中に伊丹市社会教育課、中央公民館、きららホール、ラストホールで、令和7年度の各館のスマホ相談室の立ち上げに向けて今後の動きを打合せする予定となり、サポーター養成講座受講生の活躍の舞台が確保されることがほぼ確定しました。

令和7年度も同様のサポーター養成講座を依頼される可能性もあり、今後も、伊丹市の動向を注視していきます。

2025年2月のスマホ講座予定

講座名	場所	開催日	時間	内容
川西市多田地区 第2回初心者向け スマホ講座	多田グリーンハイツ 第2自治会館	2月5日	14:00-16:00	基本設定・操作
		2月12日	14:00-16:00	カメラ機能
		2月19日	14:00-16:00	LINE
摂津市スマホ・サポーター養成講座	摂津市立コミュニティ プラザ	2月13日	14:00-16:00	基本操作・設定、検索
		2月20日	14:00-16:00	カメラ関係、Googleレンズなど
		2月27日	14:00-16:00	LINE、アンケートで3日間の復習
短期講座(スマホ相談 コース 5回)	フレミラ宝塚	2月27日	10:00-11:30	1回目のスマホ相談会

スマホカフェプロジェクト (担当：橋之爪)

スマホカフェ

・チューター養成講座@ここおるが無事3回開催され、受講生2名が修了されました。

とても意欲的な方々なので、今後の地域での活躍が楽しみです。

・社協さんと意見交換

ボランティアプラザ zukavo、地区担当支援課、地域包括とスマホカフェ展開について意見交換を行いました。

今後は、テクニックも必要だが寄り添うマインドを重視したサポーターを地域に増やしたい理想を改めて共有。しかし、定期活動やマッチングをボランティアに任せるのは難しく、身近な人への相談もしづらい現状なので、地域活動者向けの教え方講座や、情報共有会、LINE オープンチャットでのつながりづくりなど、アイデアをたくさんいただきました。



ここおる通信

ポーセラーツひな祭りプレートづくり おすすめです！

2025年2月 ここおるイベントカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
		スマホサロン 10:30-11:30 暮らしの保健室 10:30-12:00			*はな*MARI ハンドメイド カフェ 10:30-14:00	
9	10	11	12	13	14	15
			洋服お直し リメイク 相談会 10:30-14:00		*はな*MARI ポーセラーツ ひな祭り プレート作り 10:30-14:00	
16	17	18	19	20	21	22
		ニットサロン 13:00-15:00 街角 美容サロン 10:30-13:00			爪レスキュー 10:30-12:00 論語カフェ 14:00-15:00	論語カフェ 15:00-16:00
23	24	25	26	27	28	
			ちびっこ ここおる 12:30-15:00		*はな*MARI ハンドメイド カフェ 10:30-14:00	

グレー表示の日 () は休日です。



はたらくきっかけづくり プロジェクト (担当：井川)

1月も、継続して高齢女性(65歳以上)の働かない理由をヒアリングしました。働かない理由はとりどりで、寄り添ってサポートして欲しいことや、就労のためのきっかけを求めているがどうすればいいのかわからないというご意見は、ほとんどの方が抱いているようです。

このご意見や今までヒアリングしたものは、3月にまとめさせていただきます。

1月25日には、万博の活動を控えている方々に、活動するにあたっての心構えをお話させていただきました。そして、必須・必要と思われるスマホの使い方を大林講師からレクチャーしていただきました(詳細は遠座理事長の記述部にもあります)。

参加者は、『スマホはLINEしか使っていなかったが、一括送信やリプライなどは使ったことがなかった』『LINEもこんな使い方があるのは知らなかった』『出かける時にスマホを忘れてしまうこともあるけど、活動の時は忘れなないようにしないと』『ミュートというのは相手のことを思い遣った機能やね』『これからの活動にたいへん役立った』との感想をいただきました。